

『満月の野原』

桑原 紀子

今年の中秋の名月は満月になるので、お月見をしようと、夕方から友人たちと、草原のある野津田公園に出かけました。

まだ明るいうちに着いて、ススキの丘を上ります。赤紫の萩や、キンミズヒキ、ススキの根元にはナンバンギセルの花が咲いています。ススキに囲まれた平らな場所にシートを敷き、お団子やさつま芋、里芋、栗のお供えを飾りました。友人が月見の野点をしてくれるので、後は、月の出を待つばかりです。9月12日、まだ暑さの名残が残っていた日中と違い、林や野原が広がるこの丘は、ひんやりと初秋の空気に包まれています。



月はどこから出るかな？

5時半を過ぎ、次第に薄暗くなっていく空をきよきよろ見渡しました。後方を林の木々にさえぎられているので、もし木の向こうだと、しばらくは見えません。

暗くなってくると、秋の虫の音がさっきより大きく聞こえ始めました。私達が坐っている周りのススキ原のあちこちから、いろんな鳴き声がしています。虫好きの友人は耳を澄ませ、「あっちで鈴虫が鳴いてる」「この大きな声は木の上のアオマツムシね」「あれカンタンじゃない？」「御岳まで行かなくても、聞けるのね」とは、青梅の御岳のカンタンを聞く催しの事らしい。

カンタンはリューリューリューというような鳴き声で、さかんに鳴いています。

満月が木々の茂みの向こうから明るい光りを放ちつつ、上ってきました。友人は月明かりの中で、美味しいお茶を点ててくれました。月が明るいので、北極星や北斗七星も、うっすらとしか見えません。

その時、ガシャガシャガシャガシャ・・・という虫の音が響き始めました。

「あっ、クツワムシ」
クズの葉の上で、鳴いている姿も見つけました。30年前は、能ヶ谷でも鳴き声を聞いたものです。

カンタンのリューリュー、鈴虫のリーンリーン、クツワムシのガシャガシャ、その他にも様々な虫の音が聞こえます。

丘を下りると、お馴染みのコオロギも鳴いています。満月の野原は、虫の声でいっぱいなのでした。公園の閉門は8時。また虫の声を聞きに来れそうです。



ナンバンギセル